

# 中深場の美味魚がそろい踏み これぞ江見沖のポテンシャル

南房地区といえば朝方フラッシュャーサビキでアジ・サバを釣る、その後オニカサゴやイカに転じるリレー釣りが盛んなエリアだ。  
江見太夫崎港の渡辺丸もリ

レー釣りを受け付けてくれる1軒で、ホームベジの出船予定を見るとクロムツ(ムツ)とアカムツのリレー釣りのプランが。  
ブラックダイヤとレッドルビー、この海の宝

石リレー釣りプランに目が眩んだのはいうまでもなく、10月中旬、江見太夫崎港を訪れた。早朝3時半、私を含む6名の釣りを



▲アカムツの当日最大48センチ。江見沖は50センチオーバーの大型も潜む  
▼クロムツは追い食いを狙って多点掛け



人が集合場所の漁協前に待機している、15トンの大型船が接岸される。事前に伺った概要では前半に狙うクロムツの仕掛けは8本バリのフラッシュャーサビキでオモリは150号。  
後半のアカムツは胴つき2〜3本バリ、オモリは200号。クロムツ狙いときは水深90〜170メートルだが、アカムツは300メートル近い所まで探ることもあるので、リールはPE4号を最低400メートル巻

**知得!** Tips and Tricks  
●船長に聞きました  
**クロムツ&アカムツのコツは?**

「早朝のクロムツ狙いは、派手な誘いを入れると道糸のマーカ一部にスマイヤキが食い付いて道糸を切られやすいので、シャクリなどはほしないほうがいいです。反応は結構高く出るので、着底したら底から15メートルくらいまでデッドスローの電動巻き上げて探ってください。  
クロムツは夜が明けるまでの短時間勝負。数をのばすにはアタリがきたら巻き上げを止め、その場で少し待ち、追い食いさせてください。フラッシュャーサビキで十分釣れますが、サバの切り身を付けるとより効果的です。  
貸し出し無料のマグネット板もあるので、仕掛けの扱いに不慣れな方は遠慮なく使ってください。  
アカムツはほかのエリアと同様に基本はゼロテン釣法ですが、南房はタナがかなり上ずることも珍しくないで、底ばかりにとらわれず、底上3〜5メートルまで誘うことも必要です。  
置き竿では釣果はのびません。やはり竿は手持ちで、ゆっくりとていねいに根気よく誘いを入れ続けること。これに尽きます」

▶手を休めず誘うことが重要

いたものを用意。  
竿はアカムツ専用のほか、イカ竿、青物用など、200号のオモリを背負えて、誘い・操作しやすいものであればなんでもOKとのこと。  
**派手なアタリで多点掛け**  
4時少し前に出船となり、満天の星空の下、安全航行で進むことおよそ30分で鴨川沖の釣り場に到着。  
「どうぞ始めてください。水深は92メートルです」

早い時間帯ほど有利かと期待したが、開始から2流しは船中ノシゲナル。  
「まだ時間が早いんですよ。もう少ししたら釣れ出しますから」と常連の西野さん。その言葉どおり、5時近くになり東の空が白み始めたところで、ガクガクガクとクロムツ特有の派手なアタリに各自の竿がたたかれ始める。  
右隣の間の内野さんのヒットを皮切りに、はるばる宮城県から来られた佐々木さんも



▲中深場の豪華リレーは帰宅後の夕げも楽しむ

4尾掛け、西野さんも3尾掛けと船中いきなりのウハウハモードに突入。  
私の仕掛けにも4尾のクロムツ。大きいものは36センチと文句なしのサイズだ。  
交じりでサバが釣れたらリリースせずアカムツのエサ用に大事にキープ。  
その後も深みに落ちていく反応を追いながら追釣していくも次第に反応もなくなり、アタリが途絶えた6時に終了となる。  
普段ならクロムツも20尾前後の釣果は堅いとのことだが、

当日は潮が2ノット近くと速く、反応からアツという間に外れてしまい、時合は一瞬。それでも派手なアタリにゾロゾロ多点掛けと実を楽しめたシヨートタイムであった。  
**デカイのきたぞ!**  
アカムツ狙いは20分ほど南下した和田沖。  
先ほど釣れたサバをカットし、ツボ抜きしたホタルイカと抱き合わせでハリに付けて水深210メートルの海底へと送り込む。  
しかし、ここでも潮が速く、仕掛けが着底したのは道糸が270メートルも出たところ。  
底ダチを取り直すと、トモ側に流れていた道糸が徐々に立ってくる。上潮ばかりが速く、底潮が流れない二枚潮の

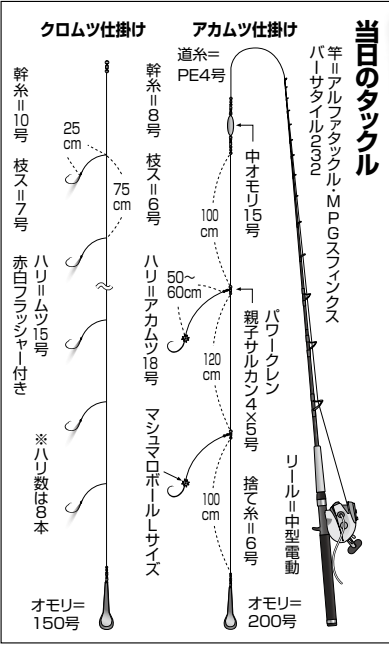
ようだ。  
さっそくのアタリはクロムツ。うれしいけれど、ここではゲスト扱い。  
たまにオツ!? という引き念のため慎重に巻き上げてみるが...ギャラリーに注目されるなか上がってきたのはやつぱりお前か! のツノサメだ。まされた全員が苦笑い。  
「潮方が悪いね。アカムツはほんの少しでも潮が気に入らないと口を使わないからねえ」  
そんな不穏ムードのなか、手持ち竿で積極的に誘いを入れていた西野さんの竿にゴンゴンゴンというアタリ。  
「サメだよ、サメ」ののち、「ウオツ!! アカムツだよ! アカムツ!!」ギャラリーの冷やかしの声が歓声に変わる。

タモの中で踊るレッドルビーの魚体。しかもデカイ!  
その場で計測すると48センチ、14キロのビッグサイズ。これが江見沖のポテンシャル。見ているこちらまで興奮してくる。  
仕掛けを入れ直した西野さんにまたまたヒット。これも40センチ1キロの見事なサイズだ。  
冷やかしてばかりいられないと、お隣の佐々木さんも奮闘。沖揚がり間際に本命のアタリをキヤッチ。30センチ級を釣り上げ有終の美を飾ってくれた。  
アカムツを釣り上げた2人に釣れたタナを伺うと、いずれも掛かったのは上のハリ。オモリも底を2メートル切っていたというから、およそ底上4〜5メートルのところまでヒットしたということだ。  
船長が言っていたとおり、底ばかりにとらわれず、手持ち竿で広く探ることが重要というのを再認識。

10時に沖揚がり。当日の釣果は30〜36センチのクロムツを4〜10尾、28〜48センチのアカムツが船中3尾。  
「初めて渡辺丸に乗りましたが、船長のレクチャーのおかげで釣れました。アカムツは

ふられましたね」とはクロムツでトップの内野さん。  
クロムツのお土産はハズレなし。潮況がよければ大型のアカムツもゲットできちゃう魅惑のリレー釣り。  
アカムツ&クロムツは8人限定。濃厚な船長が優しくレクチャーしてくれるのでビギナーにもおすすめです。

**Tackle Guide**  
フラッシュャーサビキ仕掛けは各メーカーより色々なものが販売されているが、初めてのときは船宿仕掛けを使用するのが失敗のない選択だ。



▲クロムツの最大は36センチ

★最新版『沖釣り仕掛け全集』好評発売中!!

●船宿information  
南房江見太夫崎港  
**渡辺丸**  
☎080-5497-0390  
(詳細は巻末の情報欄参照)

▶料金=クロムツ&アカムツ乗合一人1万1000円(水付き)、ホタルイカ1パック1000円  
▶備考=予約乗合、3時半集合。クロムツ&アマダイ、スルメイカ、アコウなど各種リレーも受付

渡辺 英雄船長